

NORMAN®

桐ウッドブラインド
ウェスタンレッドシダーブラインド
グランドウッドブラインド

ループコードタイプ
ループコードタッチ
取扱説明書

このたびは、当社商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、末永くご愛用くださいますようお願いいたします。**お読みになった後は、大切に保管してください。**

安全上のご注意（必ずお守りください）

本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用いただくために、特に注意していただくことを表示してあります。取り付けの前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願いいたします。

■ 表示内容を見誤って誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	警告 製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	注意 製品の取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。
■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。	
	製品の取り扱いにおいて、その行為を「 禁止 」する内容です。
	製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を「 強制 」する内容です。

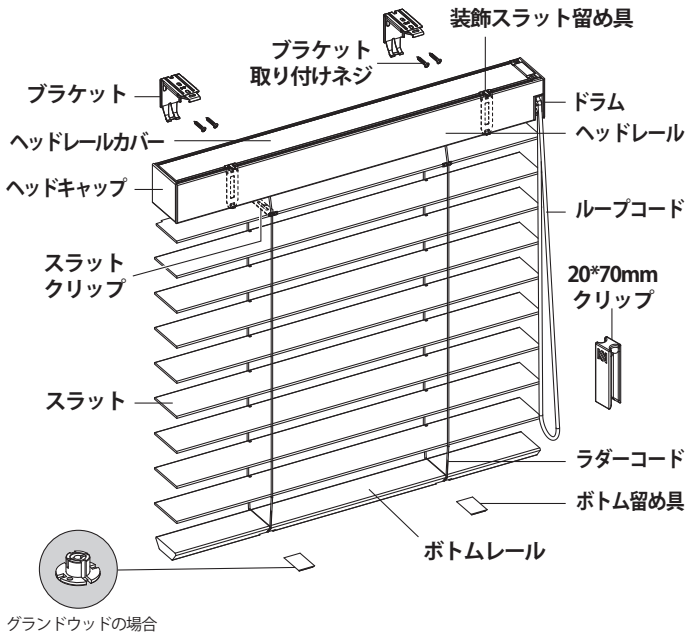
■ 取り付け上のご注意（取り付け前に必ずお読みください）

		付属のブラケット取り付けネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボード等)には使用しないでください。
		本書に記載されているブラケット取り付け数量と取り付け位置は必ずお守りください。本体が落下し、ケガをしたり物を破損する恐れがあります。
		設置作業の際には、作業範囲内に破損の恐れがあるものや、作業の妨げになるものがないことを確認の上、作業環境の養生準備を確実に行ったうえで設置作業を行ってください。
		・本製品は室内用です。屋外へは取り付けしないでください。
		・高温、多湿の条件(サウナ・給湯器近く・ボイラー室等)への取り付けは絶対におやめください。
		製品は、左右平行(水平)になるように取り付けてください。

■ 使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）

		・お子様をコード等で遊ばせないでください。
		・コード等が首や体に巻き付くなどして事故を招く恐れがありますのでご注意ください。
		・無理な操作や乱暴な取扱いは、絶対におやめください。製品が破損したり、落下する恐れがあり、ケガや物を破損する原因となります。
		・製品に物を吊り下げたり、ぶら下らないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあり、ケガや物を破損する原因となります。
		操作をしない時は、お子様の手が届かない位置でコードを束ねて、コードをクリップに固定してください。
		・火のそばでの使用は絶対におやめください。
		・強風の時は、必ず窓を閉めるかスラット(はね)を畳んだ状態にしてください。製品の破損や思わぬ事故の原因につながる場合があります。
		・昇降動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。また、操作の際は範囲内に人がいないことを必ず確認してください。
		・必ずコードを持って操作を行ってください。スラット(はね)やボトムレールを持って操作を行わないでください。

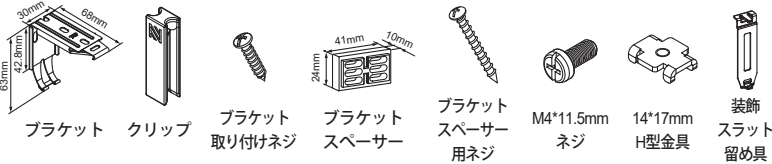
製品全体図及び部品名称、付属部品



グランドウッドの場合

- ※ 上表のブラケットスペーサー数量は、1連の場合です。2連、3連の場合は、ブラケットスペーサーの数量を増やしてください。
- ※ ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど)には使用できません。
- ※ 通常は19mmのネジが付属します。ブラケットスペーサー1連使用時は38mm、2連は51mm、3連は63.5mm、鴨居付けは31mmのネジが付属します。連結時のスペーサー奥行きは2連18mm、3連26mmとなります。
- ※ 仮止め用両面テープ数=ブラケット数*1+ブラケットスペーサー数*2。 ※ 改良、性能向上の為に予告なく仕様変更する場合があります。

付属部品の数量



【カーテンレール付け以外の場合】

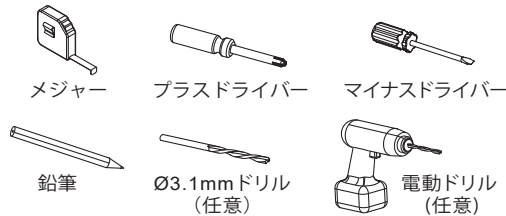
製品幅(mm)	ブラケット	クリップ	壁面付け以外の場合 ブラケット 取り付けネジ	壁面付けの場合 ブラケット スペーサー	壁面付けの場合 ブラケット スペーサー用ネジ	装飾スラット留め具 桐・WRC	装飾スラット留め具 グランドウッド ブラインド
~939mm	2	1	4	2	4	3	3
940mm~1193mm	3	1	6	3	6	3	3
1194mm~1905mm	4	1	8	4	8	3	3
1906mm~	5	1	10	5	10	3	4

【カーテンレール付けの場合】

製品幅(mm)	ブラケット	クリップ	M4x11.5mmネジ	14x17mm H型金具	装飾スラット留め具 桐
~939mm	2	1	2	2	3
940mm~1193mm	3	1	3	3	3
1194mm~1905mm	4	1	4	4	3
1906mm~	5	1	5	5	3

取り付け手順

取り付けの際にまず下記の道具をご用意下さい



取り付け手順は次の順になります。

- 外箱の状態を確認 → 開梱、製品を取り出す → 製品・付属品数量を確認
- ブラケットを取り付け → ヘッドレール正面装飾スラット留め具を取り付け
- 本体を取り付け → ヘッドレール正面装飾スラットを取り付け
- ブラインドを開き、スラット間の緩衝材を取り外す → ブラインドの昇降、動作を確認

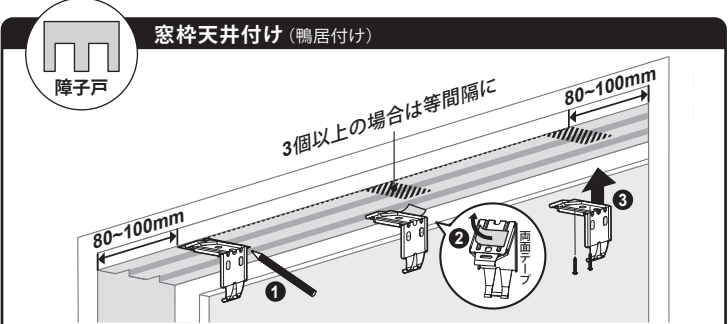
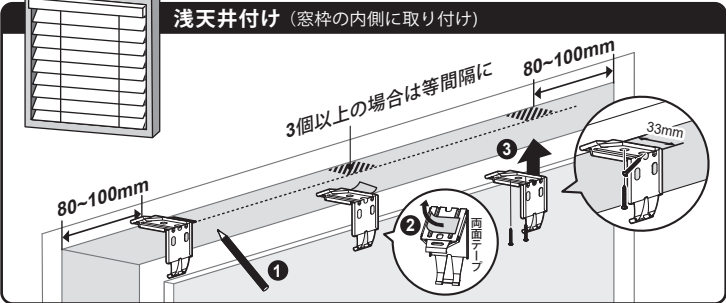
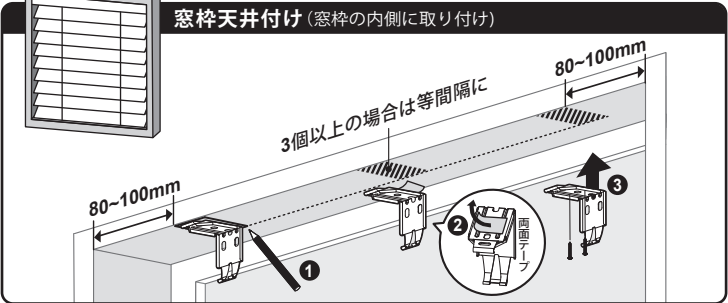
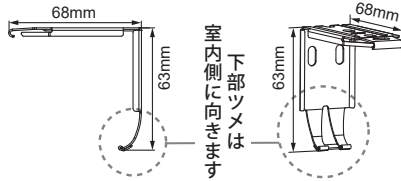
注意 取り付けが完了するまでループコード操作はしないでください。故障の原因になります。

1 ブラケットを取り付けます

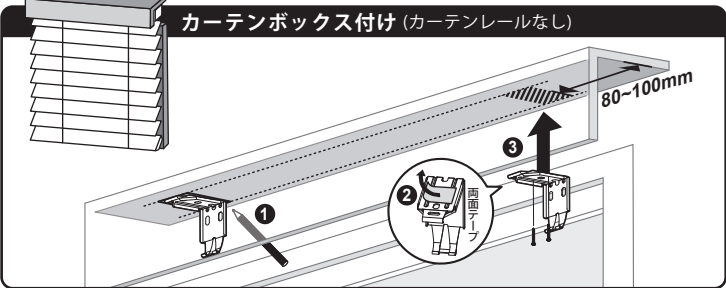
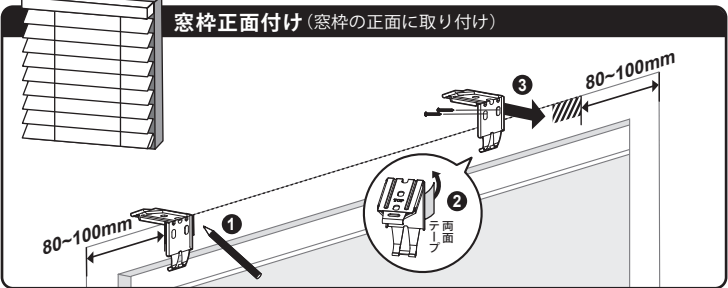
最初に両端のブラケット取り付け位置を決めて、ブラケットをヘッドレールの両端部から約80~100mm内側に両面テープで仮止めしてください。

各ブラケットが左右平行(水平)になるようにして、ネジでしっかりと固定してください。(下記参照)ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットとの間隔が均等になるようにしてください。

【ブラケットの設置方向】

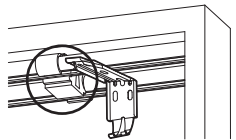


1. ブラケットが2点の平面に接することを確認し、ネジを凹み箇所差し込み固定してください。
2. ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットとの間隔が均等になるようにしてください。

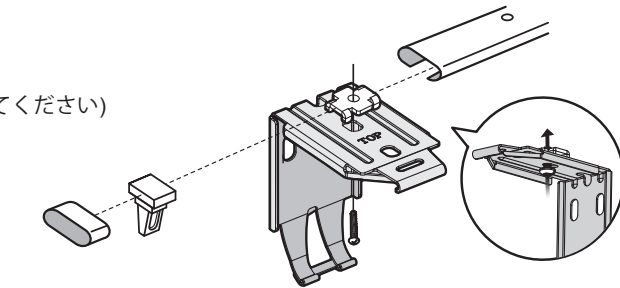
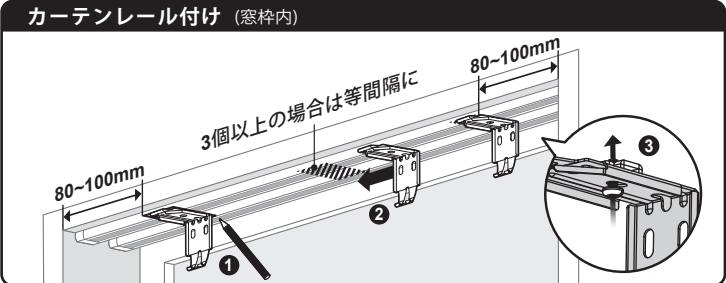
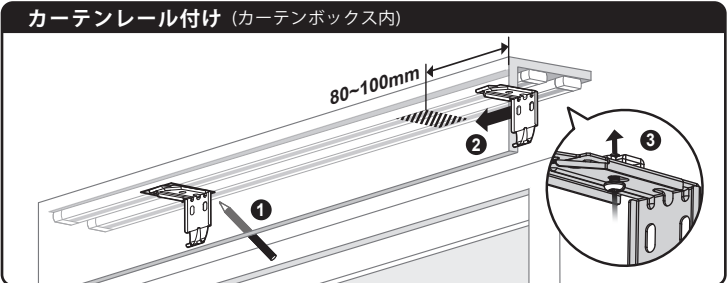


カーテンレール付け

ブラケットとH型金具を合わせ、ネジで仮止めします。(この時点では仮止めにしてください)H型金具とブラケットを一緒にカーテンレールの端からスライドさせます。



※ ブラインド本体のブラケットとカーテンレールブラケットは、図の通り、ずらして設置します。

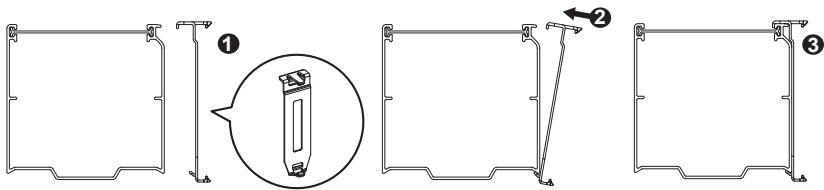


カーテンレールからランナーを外します ▶ ネジを仮止めします ▶ 隙間を利用しレールにスライドさせます

2 ブラインド本体を取り付けます

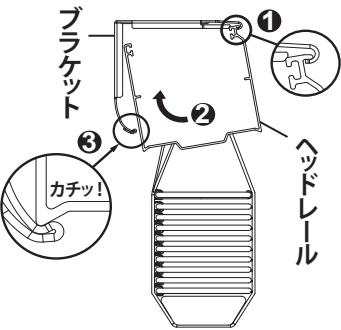
2-1 ヘッドレール正面装飾スラット留め具の取り付け方

ヘッドレール正面に装飾スラット用の留め具を取り付けます。
留め具はブラケット位置を避け、均等に配置します。
留め具は右図の手順で固定してください。



2-2 ブラインド本体の取り付け方

ヘッドレールをブラケット手前のツメに引っ掛けて、ヘッドレールを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し込んで固定してください。



取り付けのポイント- ① 目視確認!

ブラインドのブラケット取り付けは必ず最後に、目視でブラケットのツメがヘッドレールの引っかかりについていることを確認してください。まれに、カチッと音がしてもツメが引っかかっていない場合がございます。

取り付けポイント- ②

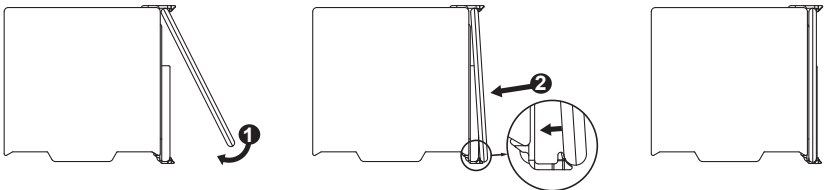
商品幅により、ブラケットにヘッドレールを取り付ける際、まれにブラケットの位置がヘッドレールのしなりがよくない箇所にあたり、ヘッドレールを押し込むのが困難場合があります。その場合、ブラケットの左右位置を若干調整したのち、ブラケットの設置位置が水平かどうか再度確認の上、強めに押し込んでください。



取り付けが不完全ですと製品が落下して、ケガや物が破損する原因となる恐れがあります。必ず最後の目視確認を十分に行ってください。また、ハンマーなどで叩くとブラケットが変形し、取り付けができなくなってしまう場合がございます。

2-3 ヘッドレール正面装飾スラットの取り付け方

ヘッドレールをブラケットに設置完了したら、ヘッドレール正面に装飾スラットを取り付けます。
まず、2-1で設置した留め具の上部溝に装飾スラットを引っかけて、そのまま嵌め込みます。

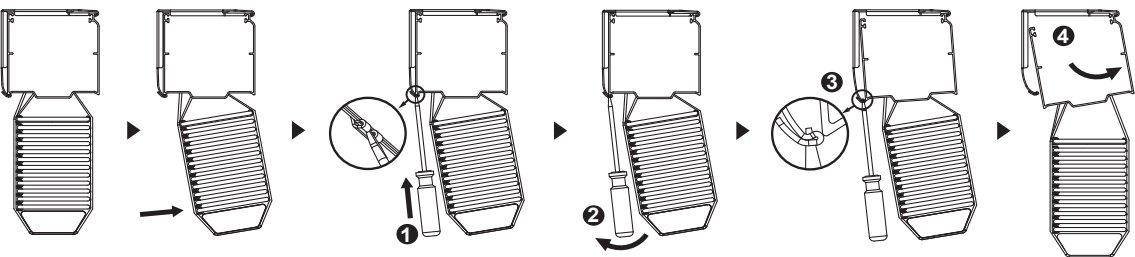


ご注意ください

①上部ツメに差し込み、②下部ツメにはめ込み、
の順で取り付けください。
順を誤ると装飾スラットが破損する恐れがあります。

ブラインド本体の取り外し方

マイナスドライバーをブラケットの後方隙間へ差し込み、図①～③の手順でヘッドレールの後方に掛かっているツメを外します。ヘッドレールを④の方向へ外し、ブラインドをブラケットから取り出します。

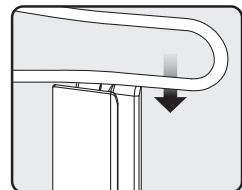


警告

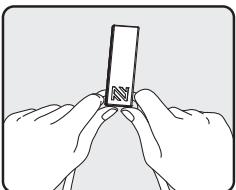
ブラケットからブラインド本体を取り外す際は、必ず本体を手で支えながら作業してください。

3 クリップの取り付け

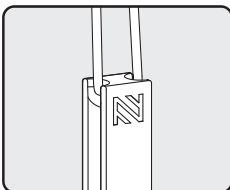
■ クリップの取り付け



ループコードをクリップ開口部から挟み込みます。

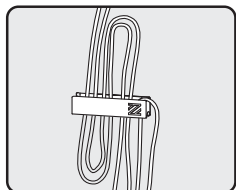


両手でコードを支えながら両親指でクリップを押ししてください。



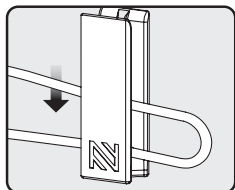
クリップ
最奥までコードを押し込みます。

■ クリップの使い方

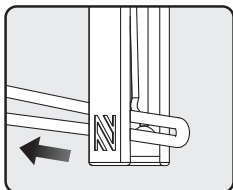


余ったコードをクリップに挟み込みながらお子様の手の届かない高さでまとめましょう。

■ クリップの取り外し



クリップに、重ねてコードを押し込みます。



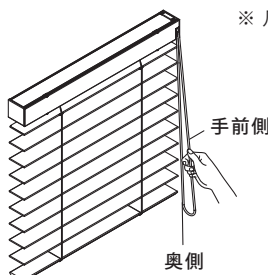
最奥までコードを押し込んだ後に、輪の逆側のコードを引き、クリップを取り外します。

操作方法

ループコード式

- ブラインドの上昇
コードの手前側を引きます。
- ブラインドの降下
コードの奥側を引きます。

- スラット(はね)角度の調整
コード手前側を引くとスラットが手前側に、奥側を引くとスラットが奥側に回転します。



※ 凡例図は桐ウッドブラインド



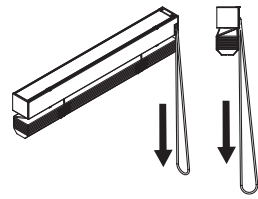
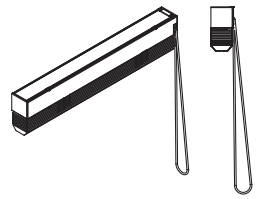
▶ 操作動画

ループコードタッチ

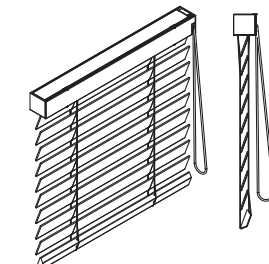
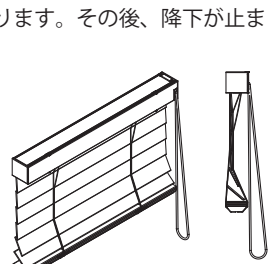
【ブラインドを降ろす場合】

■ 取り付け時

- 奥側のコードを約50～53cm引いた後、スラットが少し回転し自動降下します。
注意：コードを引ききった後で無理にコードを引かないでください。故障の原因になります。



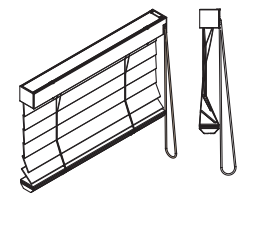
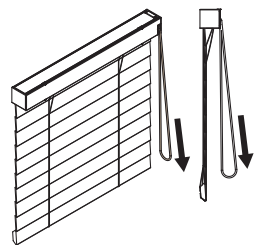
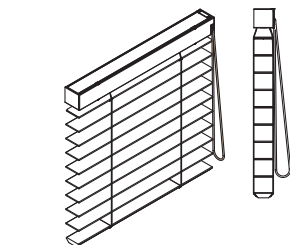
- 降下中に動作を止めるには、手前のコードを引きます。コードを引くと、スラットが閉まります。その後、降下が止まります。



【ブラインドを上げる場合】

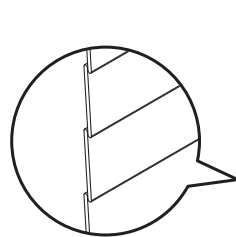
■ ブラインドが降りきった状態

- 手前のコードを下に引くと、まずスラットが回転します。

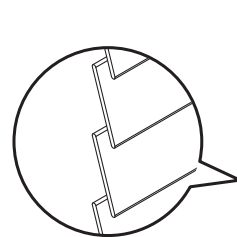
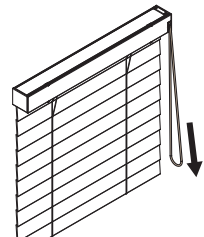


【スマートブライバシーについて】

- スラットが完全に閉じた(※)後、さらに手前のコードを引くとブラインドが上昇します。
※ 天然素材の特性上、すべてのスラットにおいて100%の遮光性を証することはできません。

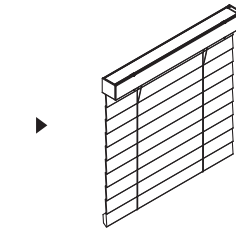
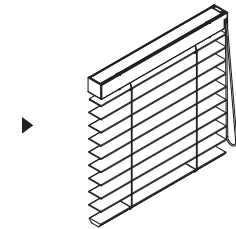
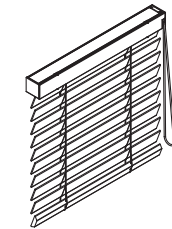


完全に閉じた状態



完全に閉じた状態ではありません

【スラットの角度調整】



ループコードを交互に引くことでスラットの角度が調整できます。

調整

ループコードタイプ(1:3の操作メカを除く)、ループコードタッチ、ともに障害物に触れると降下が止まる安全装置付き。
安全装置起動後は、一度ブラインドを上げると安全装置が解除されます。



▶ 操作動画

お手入れ方法

- 日頃のお手入れは、小型ほうきや羽根はたき、またはハンドモップ等でほこりを落としてください。
- 木製ブラインドのスラット(はね)は天然木なので、やわらかい布で乾拭きしてください。

梱包材の処理方法

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処理してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

ノーマンジャパン株式会社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-23-15 A-PLACE 代々木3階

お客様サービス窓口：0120-051-507 (お問い合わせ時間：平日9時30分～18時)

ホームページアドレス：

<http://www.norman.co.jp>